

平成26年度事業報告書

社会福祉法人けやきの村

社会福祉法人けやきの村は、ノーマライゼーションの理念と利用者の意思決定のプロセスを大切にするとともに、社会福祉法第3条に規定する「福祉サービスの基本理念」、同第4条の「地域福祉の推進」及び第5条の「福祉サービスの提供の原則」を基本とした『経営理念』、また中・長期計画としての『経営方針』・『福祉ビジョン』、さらには職員が利用者本位の質の高いサービスの提供と開発に努め、社会福祉の推進と福祉サービス利用者の自己実現をめざすための『職員行動規範』を遵守するとともに、利用者の福祉向上を至上命令とし、「職員の意識改革」・「仕組み、体制の総点検」・「指示系統の徹底」・「意思・意識の共有」を継続して推進しました。

平成26年度においても、福島県の県北保健福祉圏域における障がい者福祉の中核的な役割を果たすべく、けやきの村、青松苑および静心園の3ヶ所の障害者支援施設を中心に日中活動の場としての生活介護事業、就労移行支援事業および就労継続支援B型事業、在宅サービスとして短期入所事業及び居宅介護事業、生活の場としての施設入所支援事業、サービス利用に係る特定相談支援事業等を実施するとともに、高齢者福祉においても飯坂北地区の福祉拠点としてデイサービスセンター指定通所介護事業所、指定居宅介護支援事業所、福島市飯坂北地域包括支援センターと訪問介護・居宅介護を行うけやきの村ヘルパーステーションが、在宅高齢者等への福祉サービスを提供するため、事業計画に基づき事業を実施しました。

第1 施設の運営管理

施設利用者の基本的人権を尊重し、施設環境の保全に努め、施設利用者が生活の場として快適な日々が過ごせるよう努めました。

I. 施設内外の環境及び備品等の整備

① けやきの村

旧館廊下網戸取付工事
ナースコール設備ハンディーナース増設
空調機GHP室外機等修理
太陽光発電設備整備工事
(平成26年度福島県再生可能エネルギー導入等による防災拠点支援事業)
太陽光パネル点検用タラップ取付工事
通所用ロッカー購入(2台)
送迎用車両購入(中古車2台)
リフト付き車両1台(日本財団補助事業)
パソコン更新(リース契約、デスクトップ4台、ノート15台)
液晶テレビ寄贈(福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様)

② 青松苑

パソコンネットワーク及びシステム更新
厨房配膳棚修繕工事
職員浴室ガス給湯器交換修理
給排水設備、井戸揚水ポンプ等修理
ギャジベッド購入(2台)
二槽式洗濯機寄贈(福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様)

③ 静心園

空調機 GHP 室外機修理
利用者用大便器取替工事
居室ベランダ側カーテン更新
俎板山湧水配管布設工事
ベッド周りカーテン更新
薬注ポンプ取替工事

ストレッチャースケール購入
 乗せ換え装置付電動ストレッチャー購入
 厨房用冷凍冷蔵庫更新
 キッズコーナー購入
 パソコン更新（デスクトップ3台、ノート6台）
 3モーターギャジベッド更新（1台）
 コーヒーメーカー、フードプロセッサー、ファイバーミキサー寄贈
 （福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様）
 利用者用冷凍冷蔵庫寄贈（政木健治様）

④ 桃の里

浄化槽排水ポンプ交換修理
 エアコン室外機修理
 送迎用車いす購入（3台）
 3モーターギャジベッド購入（1台）
 ブルーレイレコーダー寄贈
 （福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様）

II、消火避難訓練及び防災設備等の点検等

- ① 毎月1回火災を想定しての避難訓練の実施、また地震、水害等を想定した避難訓練を実施し、迅速・適切な避難行動がとれるよう努めました。
- ② けやきの村と青松苑の合同および静心園において、地域の方々および消防署、消防団、関係団体の代表者と施設職員による総合防災対策協力者懇談会を開催し、非常事態発生時に備え協力体制の強化を図りました。
- ③ 年2回消防設備法定点検を実施しました。
- ④ 飯坂消防署による防災設備等の立入検査ならびに夜間防火管理体制検証を受けました。
- ⑤ コンセントのたこ足配線や綿ごみ等による自然発火を防止するため、居室内のコンセントの点検と電化製品の配線等の点検を実施しました。

III、事故防止の徹底

- ① 利用者がそれぞれの施設・事業所において安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット（インシデント）、事故（アクシデント）報告書による未然防止や再発防止に努めました。

	件数	内訳					
		転倒	外傷	破損	服薬	火傷	その他
けやきの村	52	33	7	3	—	—	9
青松苑	40	20	4	—	4	—	12
静心園	159	47	13	—	19	—	80
ヘルパーステーション（居宅介護・訪問介護）	1	—	—	—	—	—	1
指定通所介護事業所	4	4	—	—	—	—	4
指定居宅介護支援事業所	—	—	—	—	—	—	—
飯坂北地域包括支援センター	—	—	—	—	—	—	—
合計	256	97	24	3	23	—	106

- ② ①に記載の件数うち、平成25年3月11日付24自第4657号福島県障がい福祉課長名で通知のあった事故に該当する事故件数 0件
- ③ 事故防止のため、建物内の巡視を日常的に実施し、危険箇所及び危険物の早期発見に努め、整理整頓、居住環境の整備に努めました。
- ④ 介護中の事故の絶無に努めました。
- ⑤ 安全運転管理者の指導のもと、交通事故防止に努めました。

IV、大規模災害時の防災対策

- ① 大規模災害の発生に備えて、非常電源の保守点検、食料品など非常備蓄品の計画的な購入（4日分を備蓄）、避難訓練の実施等、有事に備えました。
- ② 福島市内で大規模な災害が発生した際、災害時要援護者が避難する場所として「災害発生時における福祉避難所の指定に関する協定」を平成24年2月に福島市と締結しました。平成26年度においては、福島県主催の「広域災害福祉支援ネットワークに関する講演会」（平成26年8月22日開催）や「福祉避難所の運営に関する研修会（平成26年9月6日開催）」に出席し、福祉避難所として開設を要請された場合の施設側の対応について理解を深めました。
- ③ 全国身体障害者施設協議会東北ブロック身体障害者施設協議会に加盟している51施設（けやきの村、静心園が加盟）が締結した物資や人的支援に係る防災協定に基づいて平成27年2月12日に「防災シミュレーション」を実施しました。

第2 地域の在宅要援護高齢者等に対するサービスについて

デイサービスセンター指定通所介護事業所・指定居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・ヘルパーステーションにおいてそれぞれの業務を実施し、地域の在宅要援護高齢者等の福祉の向上に努めました。

I. デイサービスセンター指定通所介護事業所

介護を要する認知症や疾病等により身体が虚弱、または身体上、精神上の障害により日常生活を営むのに支障がある高齢者および障害者を対象として、看護職員や生活相談員および介護職員が、健康状態の確認、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーションを家庭での生活の一部として行い、安心と信頼のきめ細かいサービスの提供に努めました。

☆利用状況	利用実日数	286日
	利用延べ人員	5,188人（前年度比 +4%）
	平均利用者数	19.9人（前年度比 +4%）
	ホリデー平均	2.8人（前年度比 +4%）

II. 指定居宅介護支援事業所

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定の尊重」・「自分らしい生活の継続」および「自立支援」を基本として、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに従ってサービスが提供されるよう多種多様の事業者と調整し、利用者やその家族の多様な希望や要望に対応するよう努めました。また、地域包括支援センター、病院、行政等関係機関との連携を密にして、公平中立な立場で適正な居宅サービス計画の提供が行えるよう事業所間連絡調整を充実させ、利用者の選択に基づいた支援に努めました。

ケアプラン作成	1,421件（前年度比+12%）
認定訪問調査受託	244件（前年度比 -6%）

III. 飯坂北地域包括支援センター

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、高齢者が住みなれた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、公正・中立な機関として、地域の高齢者等の心身の健康の保持および生活の安定のために、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルなど多様な社会資源を適切に利用できるよう支援するとともに、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的かつ継続的に支援することに努めました。

①総合相談支援事業

相談件数	3,101件（前年度比+12%）
サービス担当者会議	228回（前年度比-17%）
連絡調整	1,229回（前年度比-20%）

②介護予防ケアマネジメント事業

介護予防プラン作成	22件（前年度比+19件）	
介護予防教室の開催	55回（前年度比-14回）	
住宅改修プラン作成	4件（前年度比+3件）	要介護高齢者等住宅改修助成事業

③包括的・継続的ケアマネジメント事業

北方部地域ケア会議の開催	3回（前年度比+1回）
地域ケア会議（単独）	3回（前年度比+2回）

④権利擁護事業

虐待への対応	2件（前年度比-1件）
消費者被害への対応	被害予防のための教室を1回開催。その他随時相談
成年後見制度、日常生活自立支援	制度活用1件。その他随時相談

⑤介護予防支援業務

ケアプラン作成	1,308件（前年度比-2%）
---------	-----------------

IV. ヘルパーステーションけやきの村

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体その他の状況およびその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護、調理・洗濯及び掃除等の家事ならびに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般の援助の適切かつ効果的な実施に努めました。

ヘルパーステーションけやきの村サービス提供内容					
介護保険			障害福祉サービス		
延べ利用者数	派遣回数	稼働時間	延べ利用者数	派遣回数	稼働時間
635名	6,870回	5,212時間15分	24名	241回	370時間20分
前年度比+20%	前年度比+24%	前年度比+16%	前年度比-35%	前年度比-40%	前年度比-28%

V. けやきの村指定特定相談支援事業所

サービス等利用計画の作成により障害福祉サービス利用者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法によるきめ細かな支援に努めました。

	契約者数
けやきの村利用者	25名
青松苑利用者	20名
静心園利用者	39名
在宅障害者	18名
合計	102名

第3 社会福祉法の施行に伴う対応について

- ① 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員からなる苦情解決委員会において福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図るための苦情解決制度の推進に努めました。

▽苦情解決委員会の開催

日 時；平成26年6月11日（水） 午前11時～

場 所；けやきの村2F集会室

出席者；第三者委員・理事長・常務理事・各事業所苦情解決責任者および苦情受付担当者

苦情の内容；下記のとおり（平成26年度分）

	受付件数	処理件数	苦情内容					
			職員の対応	サービスの内容	説明情報提供	被害・損害事故	権利侵害	その他
けやきの村 就労支援事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
" 生活介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
" 訪問介護事業所	1	1	-	1	-	-	-	-

青松苑	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静心園	1	1	1	-	-	-	-	-	-
指定通所介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定居宅介護支援事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飯坂北地域包括支援センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2	2	1	1	-	-	-	-	-

- ② 利用者主体のサービス、利用者の生活の質やエンパワメントの向上を図るための取り組みとして、サービスに対する自己評価を行い、質の高いサービスの継続的な提供に努めました。
- ③ 法人の機関紙として「けやきの村便り」を年3回発行し、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表、事業報告書等の開示を行い事業の透明性に努めるとともに、障害者制度改革の経過等についての情報を利用者及び家族、出身世帯等に提供しました。
- ④ 平成26年3月31日から法人のホームページを開設し、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表、事業報告書等の開示を行い事業の透明性に努めました。

第4 施設利用者へのサービスの提供について

施設利用者個々の特性を把握し、その人に適した生活支援、健康管理、就労支援、職業指導および必要な機能維持のための訓練、介護を行い、適切かつ効果的なサービスの提供に努めました。

I. 支援方針の確立

年度当初において、施設利用者個々の態様に適した支援方針を確立し支援を行いました。また、年度途中においてモニタリングを実施し、当初の支援方針に基づいたサービスが提供されたかどうか、支援の効果が適切であったかどうか、施設利用者の充足度や今後の課題等について話し合いを行い、計画の達成度等について分析評価し、施設利用者の意向を尊重しながら支援方針の見直しを行いました。

II. 地域生活移行の推進

障害者自立支援法の大きな目標の一つである地域生活への移行について、けやきの村の就労事業における入所利用者を対象に地域生活体験事業や就職活動等を積極的に行いました。平成26年度は地域生活移行者はありませんでしたが、継続的に様々な体験を積み重ねることで利用者本人の動機付けはもちろん、地域生活移行についての父兄の理解を深める機会と考え、今後も様々な体験を計画的継続的にできるよう推進していきます。

総合体験（1泊2日）3回実施、利用者8名参加

調理体験 1回実施、利用者5名参加

社会資源体験 2回実施、利用者2名参加

III. 各種訓練等の実施

- ① 施設利用者の社会適応性を培うために外出が困難な方を対象に介護外出を実施しました。

けやきの村 31回 81名参加（生活 22回、延べ63名参加）

（就労 9回、延べ18名参加）

青松苑 10回 20名参加

静心園 22回 40名参加

- ② 一泊旅行を実施しました。

けやきの村 仙台・秋保温泉方面へ1回実施、就労事業利用者23名、父兄6名参加

リッチモンドホテル西口へ3回実施、生活介護利用者8名参加

- ③ 日帰り旅行を実施しました。

けやきの村 松島方面へ1回実施、就労事業利用者15名、父兄4名参加

- ④ バスハイクを実施しました。

けやきの村 福島市（NHK福島放送局、福島市役所等）

（生活介護利用者）6回実施、利用者 30名参加

青松苑 郡山市（ふれあい科学館） 3回実施、利用者 19名参加

福島市（茂庭ダム、福島イオン） 2回実施、利用者 12名参加

- ⑤ 出身家庭との交流を深めるため、お盆休暇、年末年始休暇を実施しました。
 お盆休暇 8月13日～8月16日(4日間)
 年末年始休暇 12月29日～1月3日(6日間)

IV. 各種行事の実施

- ① 毎月実施したもの
 誕生会・園長相談・各種クラブ活動・喫茶・創作活動
- ② 季節毎に実施したもの
 花見・納涼祭・老人の日を祝う会・芋煮会・クリスマス会・新年会
 成人の日を祝う会・節分・ひな祭り
- ③ その他
 開園記念日・事業開始記念日・アニマルセラピー・福島市福祉作品展への出品・中野地区展覧展への出品・ゲーム大会・その他各種招待行事等への参加

V. 健康管理

- ① 結核検診・成人病検診 年2回
- ② 体重測定・血圧測定 毎月
- ③ 嘱託医の出務
 けやきの村生活介護事業所、静心園は毎週1回、けやきの村就労支援事業所、青松苑は毎月2回出務して、施設利用者の健康管理にあたりました。
- ④ 機能訓練の実施
 けやきの村生活介護事業所は毎週2回、静心園は毎週3回出務して機能訓練にあたりました。
 平成27年1月からは、けやきの村に理学療法士1名、静心園に作業療法士1名を正規職員として採用し、個別リハビリテーション計画に基づいた訓練を実施しました。
- ⑤ インフルエンザ感染予防のため、利用者及び全職員が予防接種を受けました。
- ⑥ 口腔ケア対策として、歯磨き指導、除石等を青松苑・静心園で行いました。
- ⑦ 平成24年度から「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」に伴い介護職員等による喀痰吸引等の実施のための制度が整備されました。それに伴い、施設・事業所として喀痰吸引等の医行為を実施するため、「登録特定行為事業者」「登録不特定行為事業者」として福島県に登録を行っています。

障害者支援施設けやきの村 登録番号072000014 (特定)
 事業開始登録；平成24年4月1日
 実施する喀痰吸引等(特定行為)の行為
 ◎口腔内の喀痰吸引
 ◎鼻腔内の喀痰吸引
 ◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

障害者支援施設青松苑 登録番号072000030 (特定)
 事業開始登録；平成25年12月1日
 実施する喀痰吸引等(特定行為)の行為
 ◎口腔内の喀痰吸引
 ◎鼻腔内の喀痰吸引
 ◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

登録番号0710000180 (不特定)
 事業開始登録；平成25年12月1日

障害者支援施設静心園 登録番号072000015 (特定)
 事業開始登録；平成24年4月1日
 実施する喀痰吸引等(特定行為)の行為
 ◎口腔内の喀痰吸引
 ◎鼻腔内の喀痰吸引
 ◎気管カニューレ内部の喀痰吸引

◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

◎経鼻経管栄養

VI. 給食

- ① 給食サービスの提供にあたっては、委託先の栄養士と連絡を密にするとともに、各施設の給食委員会にも同席してもらい利用者の要望等を直接伝えることにより、献立・給食の提供方法等に反映させ、利用者の満足度を高めることに努めました。
- ② アンケート方式による嗜好調査を実施し、その結果を献立に反映させました。
- ③ 毎月1回給食委員会を開催し、施設利用者の要望等を取り入れ献立をたてました。
- ④ 施設利用者の要望に基づき、選択メニュー、鍋物、バイキング形式の食事を提供しました。
けやきの村 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 53回
青松苑 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 10回
静心園 選択メニュー（バイキング等を含む） 71回
- ⑤ 受託業者のおすすめ献立等を積極的に取り入れ、メニューの充実に努めました。
- ⑥ 栄養スクリーニングにより個々の健康状態を把握し、栄養マネジメント会議において、関連多職種共同で栄養ケア計画を作成して、アセスメント、モニタリングの実施により個々の栄養管理を行うとともに必要に応じて栄養相談を実施しました。
けやきの村 栄養マネジメント会議 49回開催
青松苑 栄養マネジメント会議 13回開催
静心園 栄養マネジメント会議 60回開催
- ⑦ 栄養士連絡会を毎月1回開催し、給食に関する打合せを行い、給食の質の向上に努めました。

VII. 身体障害者短期入所事業の実施について

指定短期入所事業所けやきの村及び静心園において実施しました。

短期入所	けやきの村	静心園
延利用人員	78人（前年度比+15人）	6人（前年度実績なし）
延利用日数	291日（前年度比+48%）	90日（前年度実績なし）
実利用人員	15人（前年度比+2人）	2人（前年度実績なし）

第5 就労支援及び就労継続支援について

- ① 施設利用者の重度化、高齢化による作業能力の低下があるなかで、各企業からの受注の確保及び新規開拓に努め、次の工賃配分実績をあげました。
けやきの村 年間事業収入 12,657,290円（前年度比+16.2%）
月平均工賃（B型） 14,228円（前年度比+10.6%）
//（移行） 8,237円（前年度比-9.2%）
//（生活） 532円（前年度比-24.7%）
青松苑 年間事業収入 4,919,085円（前年度比-0.1%）
月平均工賃（B型） 24,808円（前年度比-16.6%）
//（生活） 6,125円（前年度比-9.9%）
- ② 就労移行支援事業所（けやきの村）においては、ハローワークや障害者就業・生活サポートセンター等との連携の中で、一般企業等への就職者を1名出すなど、障害者が地域で自立した生活が送れるよう、その基盤づくりに努めました。
 - ・一般企業等就職者数 1名
 - ・ハローワーク登録者数 8名
 - ・企業採用試験等応募者数 5名
- ③ 特別支援学校の生徒の卒業後の進路対策（卒業後の利用先）として、下記のとおり6名の生徒の実習受け入れを行いました。

学 校 名	けやきの村	青松苑
県立大笹生養護学校 高等部3年	1	1
県立郡山養護学校 2年	1	
県立盲学校 3年		1

県立聾学校	3年		1
福島大学附属特別支援学校 高等部3年		1	

第6 人材育成・職員の資質の向上について

- ① 人材の育成及び人材の確保と一人ひとりの職員の資質の向上及び他職種との連携は、利用者満足度を高めるための基盤であるという認識の下、現在の『社会福祉法人けやきの村キャリアパス』に基づく人事制度を更にブラッシュアップするため、情報収集等に努めました。
- ② 施設利用者のニーズの多様化に対応するため、下記のとおり職員の研修に努めました。

	けやきの村		青松苑		静心園		桃の里	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
法人主催 新任職員研修会	1	6	1	1	1	4	-	-
〃 普通救命講習会	2	8	2	3	1	3	1	1
施設主催 勉強会等	12	246	-	-	2	59	-	-
県研修センター主催による研修会	24	34	4	4	6	8	4	4
関係団体主催による研修会	32	55	5	5	11	17	6	8
介護支援専門員協会等研修会	-	-	-	-	-	-	6	6
登録ヘルパー研修会	-	-	-	-	-	-	-	-
たん吸引等指導者養成講習会	-	-	-	-	-	-	-	-
たん吸引等基本研修会（特定の者）	1	3	1	3	1	2	-	-
たん吸引等基本研修会（不特定の者）	1	1	-	-	1	1	-	-

第7 地域との交流について

- ① 地域に開かれた施設、地域社会の理解と協力が得られる施設づくりをめざし、平野婦人会等のボランティア活動の受け入れや、桃の里においては中野小学校や飯坂保育所の子供たちとの交流会を行うなど地域との交流に努めました。また中野地区展覧会の実行委員に加わり、地域活動を支える団体として一翼を担いました。
- ② 9月28日けやき祭を開催し、地域との交流に努めました。また花見会や芋煮会には地域の方々を招待し、利用者との交流の時間を設けるなど積極的に地域活動を推進しました。
- ③ 福島市障がい者記念事業の実務担当者として参加し、障がい者週間の啓蒙活動に寄与しました。

第8 借入金の返済について

平成26年度借入金返済額は下記のとおり

① 桃の里分（独立行政法人福祉医療機構）

返済月日 平成26年8月11日 元金 1,200,000円

利子 60,300円

平成27年2月10日 利子 40,200円（利子のみ返済）

② けやきの村分（独立行政法人福祉医療機構）

返済月日 平成26年8月11日 利子 1,127,100円（利子のみ返済）

平成27年2月10日 元金 11,050,000円

平成25年2月12日 利子 1,127,100円

第9 理事会・評議員会・監事会等の開催について

別紙1のとおり

第10 一般事業実施報告について

別紙2のとおり

第11 福祉ビジョン「個別目標」の実績報告について

「社会福祉法人けやきの村福祉ビジョン2012」の3年目である平成26年度の実績は以下のと

おりでした。

(1) 施設、事業所における取り組み

※記号の説明 △；準備期間 ○；実施期間 ⇒；事業継続の期間 ×；未実施

区 分	実 施 項 目	24	25	26
障害関係共通	利用者の意向を尊重した個別支援計画に基づく安心した生活、又は充実した仕事ができるような支援体制の確立	○	○	○
	アセスメント・計画作成・支援の実施・モニタリング・計画の修整、見直し・再アセスメントのプロセスを踏まえた個別支援	○	○	○
	利用者に施設・職員を合わせるという視点	○	○	○
生活介護	定員超過減算の対象にならない範囲での利用者確保（詳細は別表1①⑦⑩参照）	○	○	○
	たんの吸引、経管栄養の行為が許容される介護職員の育成（詳細は第6②参照）	○	○	○
就労継続支援B型	特別支援学校等との連携の強化による利用定員の確保（詳細は第5③参照）	○	○	○
	地域生活移行希望者に対する社会資源利用や宿泊体験の事業実施による地域移行の推進（詳細は第4Ⅱ参照）	○	○	○
	工賃の向上（詳細は第5①参照）	○	○	○
就労移行支援	ハローワーク・障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター等と連携の強化による一般就労の推進（詳細は第5②参照）	○	○	○
施設入所支援	「障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援するため」の支援推進（詳細は第4Ⅱ参照）	○	○	○
短期入所	地域の障害者と介護者のニーズ把握	×	×	○
	けやきの村・静心園の連携による利用率の向上（詳細は第4Ⅶ及び別表1⑤⑩参照）	○	○	○
通所介護	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保（詳細は第2Ⅰ及び別表1⑫参照）	○	○	○
	広報活動の充実	○	○	○
居宅介護支援	法人内有資格者のケアマネージャー登用等	×	△	○
地域包括	介護予防利用者の拡大（詳細は第2Ⅲ②Ⅱ及びⅣ参照）	○	○	○
	高齢者の権利擁護・虐待防止への取組み強化（詳細は第2Ⅲ④参照）	○	○	○
	健康教室等の積極的開催（詳細は第2Ⅲ②参照）	○	○	○
	地域の高齢者支援の拠点としての機能充実	○	○	○
居宅介護（障害） 訪問介護（介護）	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保（詳細は第2Ⅳ及び別表1⑬参照）	○	○	○

(2) 地域生活移行に向けた取り組み

区 分	実 施 項 目	24	25	26
相談支援事業	障害者就業・生活支援センター等との連携の強化	△	○	○
居住支援	障害者住宅の利用促進	×	×	×
	グループホームの設置検討	×	×	×

	バリアフリー共同住宅やバリアフリーアパート等の設置検討	×	×	×
--	-----------------------------	---	---	---

(3) 法人事務局体制の強化

区 分	実 施 項 目	24	25	26
事務局体制	経営方針・行動指針に基づく体制の強化	△	○	○
	新会計基準への移行	△	○	○
人材育成	職員の意識改革を促す研修の継続実施	○	○	○
	専門性確立のための研修計画の作成及び実施	○	○	○
	キャリアパスに基づく人事制度構築の推進	△	○	○
サービスの質向上	サービス自己評価の実施	○	○	○
	第三者評価導入の検討	×	×	×
	法人内評価基準及び評価体制の確立	×	×	×

⑥けやきの村指定特定相談支援事業所

実施項目	区分		25年度実績	26年度実績
	入所者	通所者		
契約者の確保	けやきの村	入所者	7	24
	けやきの村	通所者	2	1
	けやきの村	短期入所者		
	青松苑	入所者	4	20
	青松苑	通所者		
	静心園	入所者	1	39
	在宅障害者	4	18	

⑦青松苑生活介護事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末利用者数	25年度末利用者数	26年度末利用者数	達成率
利用者の確保		30	30	29	27	93.3%
			1	1	1	

⑧青松苑就労継続支援B型事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末利用者数	25年度末利用者数	26年度末利用者数	達成率
利用者の確保		10	6	5	6	90.0%
			2	2	3	

⑨青松苑施設入所支援事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末利用者数	25年度末利用者数	26年度末利用者数	達成率
利用者の確保		40	36	34	33	82.5%

⑩静心園生活介護事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末	25年度末	26年度末	達成率
			利用者数	利用者数	利用者数	
利用者の確保	入所	52	48	48	50	98.8%
	通所		0	0	0	

⑪静心園短期入所事業所

実施項目	区分	23年度	24年度	25年度	26年度
		実績	実績	実績	実績
空床利用	延利用者数	6	0	0	6
	延利用日数	125	0	0	90

⑫通所介護事業所（デイサービスセンター桃の里）

実施項目	区分	目標値	20年度平	21年度平	22年度平	23年度平	24年度平	25年度平	26年度平	達成率
			均利用者数	均利用者数	均利用者数	均利用者数	均利用者数	均利用者数	均利用者数	
利用者の確保	平日	18	16.3	15.6	14.9	17.3	19.2	19.2	19.9	110.5%
	ホリデー	10	8.2	6.7	6.3	4.5	3.7	2.7	2.8	28.0%

⑬訪問介護事業所（ヘルパーステーションけやきの村）

実施項目	区分	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
		介護保険 障害福祉	3,561 146	4,262 691	4,228 1,243	4,921 1,121	4,635 1,119	4,485 514